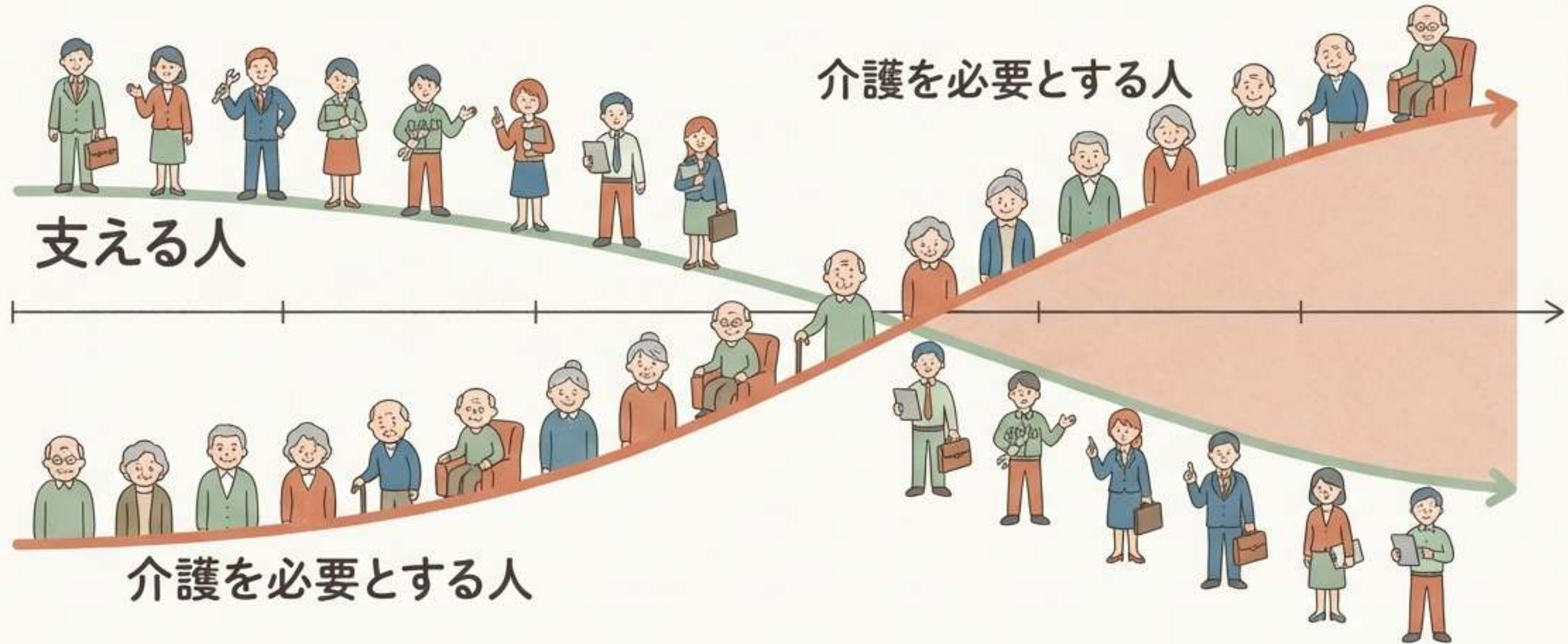


ITが苦手でも大丈夫！ 「生産性向上」って、なんだろう？

介護の未来を明るくする、新しい働き方のヒント



これが、私たちが向き合う「現実」。



介護のニーズは増え続ける。でも、働き手は減っていく。

「がんばっているのに、なぜかいつも時間に追われる…」



「生産性向上」とは、「もっと頑張る」ことじゃない。



- × スピードを上げること
- × 手を抜くこと



- 利用者さんと向き合う時間を増やす工夫

ムダをなくして、「価値ある時間」でいっぱいにする工夫。



私たちの
大切な時間



利用者さんとの会話



より良いケアを
考える時間



仲間との
休憩時間

あなたの職場にもあるかも？ 3つの「ムダ」を探してみよう。

ムリ (Overburden)



一人での無理な介助

ムダ (Waste)



物を探す時間

ムラ (Unevenness)



人によってやり方が違う

はじめの一步①：まずは、身の回りを整えよう。

Before



After



探し物がなくなれば、心にも時間にもゆとりが生まれる。

はじめの一步②：もっと賢い「やり方」を見つけよう。



誰でも同じようにできる
『手順書』を作る



便利なデジタルツールで、
情報共有をスムーズに

はじめの一步③：「一人で」から「みんなで」へ。



一人の力には限界がある。でも、チームの力は無限大。

壮大な冒険も、はじめは小さな一歩から。



完璧じゃなくていい。まずは『これならできそう』から始めよう。

ある事業所の物語：「電話リレー」が「一斉連絡」に！



月間で約12時間の時間削減に成功！

生まれた時間で、もっと良い介護、もっと良い職場を。



- 利用者さん一人ひとりと、深く向き合える。
- 「ありがとう」が飛び交う、やりがいのある職場に。
- 安心して長く働き続けられる。

さあ、あなたの「はじめの一步」は？



1. 探してみよう: あなたの周りにある小さな「ムダ」



2. 話してみよう: 仲間に「こうしたらもっと良くなるかも？」



3. 試してみよう: まずは一つだけ、小さな改善を



「小さな工夫が、介護の大きな未来をつくる。」

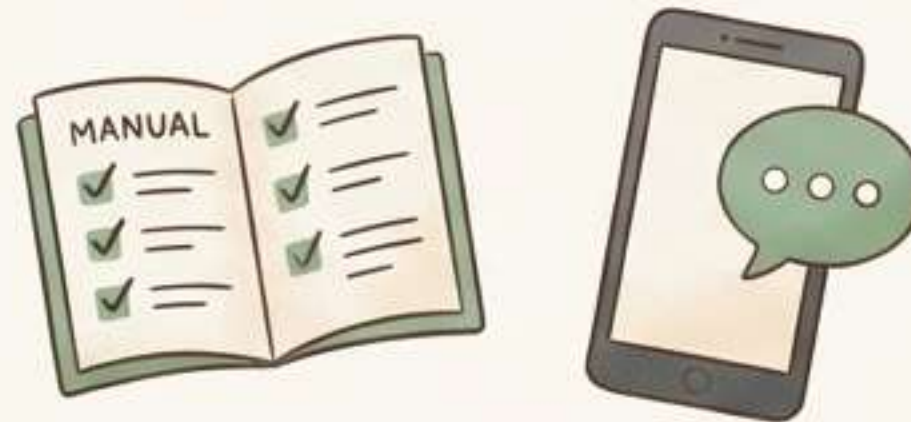
改善のヒント集

① 職場を整える



- 探し物をなくす
- 安全な環境をつくる

② 仕事を見直す



- 手順をそろえる
- 情報共有をスムーズに

③ チームで成長する



- お互いに助け合う
- みんなでスキルアップ